

『第45回日本緑化工学会大会』案内（第3回）

第45回日本緑化工学会大会運営委員長 辻 修

「第45回日本緑化工学会大会」を下記のとおり開催致します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 大会概要

(1) 日程

2014年8月30日(土)

- 10:00~12:00 理事会（講義棟 2F/23 番講義室）
- 12:00~13:00 評議員会（講義棟 2F/23 番講義室）
- 13:15~14:45 総会・学会賞授賞式（講義棟 1F/大講義室）
- 15:00~17:00 公開シンポジウム（講義棟 1F/大講義室）
- 17:30~19:30 懇親会（かしわプラザ北側駐車場）

- 10:00~17:30 受付（講義棟 1F/図書館入口）
- 10:00~17:30 書店（講義棟 1F/大講義室前（学生ホール））
- 10:00~17:30 休憩室（講義棟 2F/22 番講義室）
- 12:00~17:30 ポスター貼付（講義棟 1F/1・3・4 番講義室）

2014年8月31日(日)

- 9:00~11:45 論文・技術報告 口頭発表（講義棟 1F/5・25 番講義室）
- 11:30~12:30 編集委員会（講義棟 2F/23 番講義室）
- 12:30~14:30 論文 ポスターセッション（講義棟 1F/1 番講義室）
- 12:30~14:30 技術報告 ポスターセッション（講義棟 1F/3 番講義室）
- 12:30~14:30 研究交流発表会 ポスターセッション（講義棟 1F/4 番講義室）
- 14:35~14:50 ポスター賞授賞式（講義棟 1F/大講義室）
- 15:00~16:30 研究集会① [防災緑化研究部会]（講義棟 2F/25 番講義室）
- 16:30~18:00 研究集会② [生態・環境緑化研究部会]（講義棟 1F/3 番講義室）

- 8:30~15:00 受付（講義棟 1F/図書館入口）
- 8:30~15:00 書店（講義棟 1F/大講義室前（学生ホール））
- 8:30~15:00 休憩室（講義棟 2F/22 番講義室）
- 8:30~12:00 ポスター貼付（講義棟 1F/1・3・4 番講義室）
- 14:30~15:00 ポスター撤去（講義棟 1F/1・3・4 番講義室）

2014年9月1日(月)

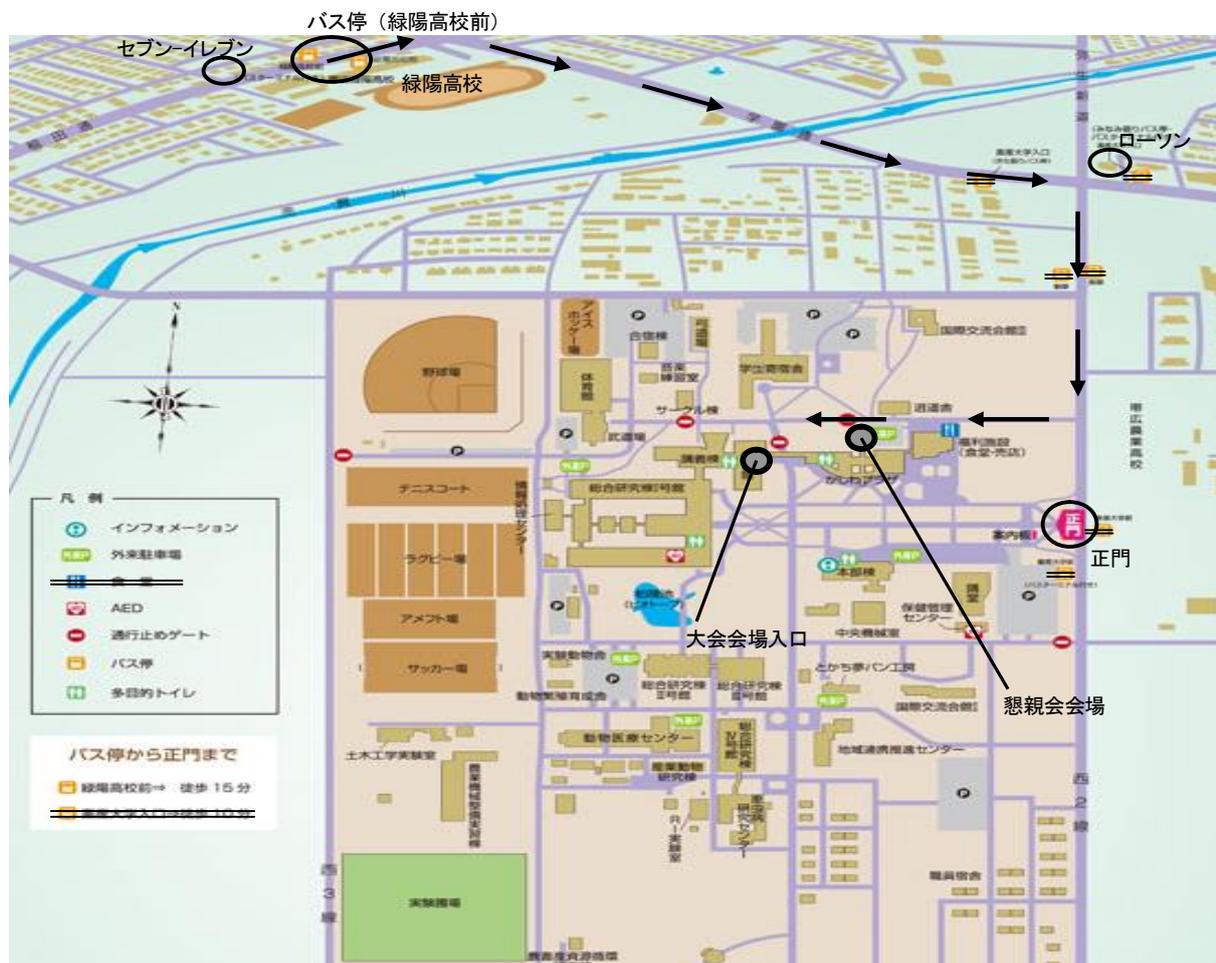
- 9:15~16:00 現地見学会（日勝峠・十勝千年の森・帯広の森）

※ 9:15 集合（厳守）場所：とかちプラザ東側（JR 帯広駅 南側そば）

(2) 会場

帯広畜産大学（帯広市稲田町西2線11番地）

ホームページ（<http://www.obihiro.ac.jp/facility/map-index.html>）でもご覧になれます。



◎ JR帯広駅から帯広畜産大学までのアクセス ◎ 道のり：約7.0 km

【自家用車利用】学内の来客用駐車場は数に限りがあります。公共交通機関の利用をお勧めします！

【タクシー利用】 JR 帯広駅から約15分（2,000円程度）：JR 帯広駅・周辺から乗車できます！

【バス利用】 8月30日（土）・31日（日）は平日でないため、以下のバスのみが運行しています！
十勝バス HP（<http://www.tokachibusu.jp/>）で詳しく確認できます。

※ JR 帯広駅北側「帯広駅バスターミナル」のりば9番

十勝バス 【70】大空団地線（動物園経由）に乗車

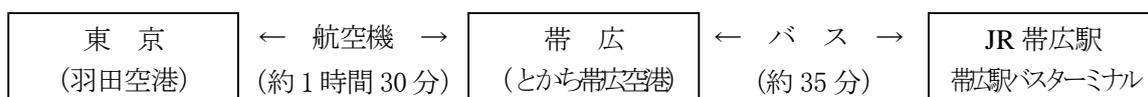
→ 「緑陽高校前」で下車（所要時間・約30分，410円）+ 徒歩 約15分

● 帯広バスターミナル発（【70】大空団地（動物園経由）ゆき）→ 帯畜大方面へ
→ 7:23（始発） 7:43 7:58 8:28 8:58（以降，毎時28分・58分）…

● 緑陽高校前発（【70】西2条1丁目經由国道38号線・西23条ゆき）→ JR 帯広駅へ
→ … 9:12 9:42（以降，19:00台まで毎時12分・42分） 20:42（最終）

◎ 各方面から JR 帯広駅までのアクセス ◎

【とちち帯広空港を利用の場合】



- とちち帯広空港 → 帯広駅バスターミナル：航空機の到着後，空港出口から出発
- 帯広駅バスターミナル → とちち帯広空港：航空機の出発時刻の約1時間半前に出発

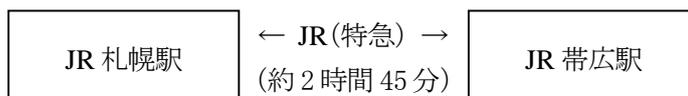
航空機 ダイヤ	便名		羽田 → とちち帯広		便名		とちち帯広 → 羽田	
	[JAL]	1151	7:40	9:15	1151	10:05	11:45	
	1153	11:40	13:15	1153	14:10	15:50		
	1155	14:00	15:35	1155	16:15	17:55		
	1157	17:55	19:30	1157	20:10	21:50		
[AIR DO]	61	7:20	8:55	62	9:30	11:15		
	65	12:15	13:50	66	14:30	16:15		
	67	17:00	18:35	68	19:10	20:55		

【新千歳空港を利用の場合】 8月30日（土）JRダイヤ改正！（次ページ参照）



- JR 新千歳空港駅 ⇔ JR 南千歳駅：「快速エアポート」に乗車
- JR 南千歳駅 ⇔ JR 帯広駅：「特急スーパーとちち」か「特急スーパーおおぞら」に乗車
- ※ 新千歳空港ほか ⇔ 帯広駅前（帯広ワシントンホテル前）
：高速バス「とちちミルキーライナー」も運行中（詳細省略）！

【JR 札幌駅を利用の場合】 8月30日（土）JRダイヤ改正！（次ページ参照）



- JR 札幌駅 ⇔ JR 帯広駅：「特急スーパーとちち」か「特急スーパーおおぞら」に乗車
- ※ 中央バス札幌ターミナル（札幌・テレビ塔そば）⇔ 帯広駅バスターミナル
：高速バス「ポテトライナー」も運行中（詳細省略）！

8月29日(金) 以前改正前 JRダイヤ

【下り】 札幌・南千歳 → 帯広

列車名	スーパーおおぞら1号	スーパーとかち1号	スーパーおおぞら3号	スーパーとかち3号	スーパーおおぞら5号	スーパーとかち5号	スーパーおおぞら7号	スーパーおおぞら9号	スーパーとかち7号	スーパーおおぞら11号	スーパーとかち9号
札幌発	7:02	8:02	8:51	10:18	11:51	13:07	14:20	16:28	17:58	19:45	21:05
新札幌	7:11	8:10	9:00	10:26	12:00	13:15	14:29	16:37	18:07	19:53	21:13
南千歳	7:32	8:29	9:22	10:46	12:22	13:38	14:52	17:00	18:32	20:15	21:32
帯広着	9:26	10:36	11:27	12:59	14:22	15:44	17:03	19:18	20:33	22:20	23:37
帯広発	9:27		11:28		14:23		17:04	19:20		22:21	

【上り】 帯広 → 南千歳・札幌

列車名	スーパーとかち2号	スーパーとかち4号	スーパーおおぞら2号	スーパーおおぞら4号	スーパーとかち6号	スーパーおおぞら6号	スーパーとかち8号	スーパーおおぞら8号	スーパーとかち10号	スーパーおおぞら10号	スーパーおおぞら12号
帯広着			8:48	9:56		13:00		15:06		17:49	20:32
帯広発	6:49	7:58	8:49	9:58	11:33	13:01	13:33	15:07	16:05	17:50	20:33
南千歳	9:02	10:04	10:59	11:58	13:32	15:03	15:42	17:12	18:04	19:47	22:35
新札幌	9:26	10:28	11:21	12:20	13:53	15:27	16:05	17:35	18:28	20:09	23:00
札幌着	9:35	10:36	11:29	12:28	14:01	15:36	16:14	17:44	18:36	20:19	23:10

8月30日(土) 以降改正後 JRダイヤ

【下り】 札幌・南千歳 → 帯広

列車名	スーパーおおぞら1号	スーパーとかち1号	スーパーおおぞら3号	スーパーとかち3号	スーパーおおぞら5号	スーパーおおぞら7号	スーパーとかち5号	スーパーおおぞら9号	スーパーとかち7号	スーパーおおぞら11号	スーパーとかち9号
札幌発	7:02	8:01	8:51	10:18	11:51	14:20	15:43	17:28	18:37	19:45	21:04
新札幌	7:10	8:09	9:00	10:26	12:00	14:29	15:52	17:37	18:45	19:53	21:12
南千歳	7:32	8:30	9:23	10:46	12:23	14:52	16:16	18:01	19:09	20:16	21:32
帯広着	9:26	10:45	11:37	13:14	14:24	17:04	18:30	20:18	21:23	22:20	23:43
帯広発	9:27		11:39		14:25	17:05		20:20		22:22	

【上り】 帯広 → 南千歳・札幌

列車名	スーパーとかち2号	スーパーおおぞら2号	スーパーとかち4号	スーパーおおぞら4号	スーパーとかち6号	スーパーおおぞら6号	スーパーとかち8号	スーパーおおぞら8号	スーパーおおぞら10号	スーパーとかち10号	スーパーおおぞら12号
帯広着		8:00		10:10		12:58		15:08	17:50		20:34
帯広発	6:46	8:01	8:48	10:11	11:20	12:59	13:33	15:10	17:51	19:26	20:35
南千歳	9:03	10:18	11:01	12:03	13:33	15:02	15:41	17:12	19:48	21:44	22:31
新札幌	9:27	10:42	11:25	12:27	13:53	15:27	16:05	17:35	20:09	22:06	22:51
札幌着	9:36	10:51	11:33	12:36	14:01	15:36	16:14	17:44	20:19	22:15	23:00

2. 参加申込方法・参加費用

		正会員	学生会員	非会員
大会参加	当日	5000円	1500円	7000円
懇親会	当日	5000円	2000円	5000円
現地見学会	当日	4000円	3000円	4000円

※ 前納受付は、2014年8月1日(金)で終了しました。

(1) 参加費

非会員の大会参加費には資料代（日本緑化工学会誌 40 巻 1 号）が含まれています。

必要に応じて別途ご購入下さい。

(2) 前納受付された方へ

参加当日受付にて「前納済み」とお伝え下さい。

3. 大会プログラム

8月30日(土) 8:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00

講 義 棟	大講義室		総会等	公開シンポジウム	
	1・3・4番		ポスター貼付		
	5番				
	21番		事務局		
	22番		休憩室		
	23番	理事会	評議員会		
	25番				
学生ホール		書店			
図書館入口		受付			
外会場					懇親会

8月31日(日) 8:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00

講 義 棟	大講義室			*	
	1・3・4番	ポスター貼付	ポスターセッション	**	研究集会②
	5番	口頭発表①			
	21番	事務局			
	22番	休憩室			
	23番		議事録発表		
	25番	口頭発表②			研究集会①
学生ホール	書店				
図書館入口	受付				
外会場					

* ポスター賞授賞式 ** ポスター撤去

9月1日(月) 8:00 10:00 12:00 14:00 16:00 18:00 20:00

外会場		現地見学会			
-----	--	-------	--	--	--

4. 研究発表（論文・技術報告）

■論文・技術報告 口頭発表① 8月31日（日）9：00～11：45（発表12分，質疑応答3分）

◇場所：講義棟5番教室

No.	タイトル	著者	時間
0-01-T	北海道礼文島における表土利用工を用いた植生基材注入工の植生モニタリング	菖蒲哲也・岸野和哉・塚田篤徳・山田守	9:00
0-02-T	泥炭を基盤材としたアルカリ土壌ののり面緑化	佐藤厚子・山梨高裕・山田充・村田陽子	9:15
0-03-T	現地発生土を用いた無播種によるのり面緑化工法の事後調査について	山田充・山梨高裕・佐藤厚子・兵庫利勇	9:30
0-04-T	積雪寒冷地北海道における造園植栽材料の選定指針に関する試みー国営滝野すずらん丘陵公園を事例としてー	趙賢一・大場達之・高橋健二 ・山本紀久・佐藤力・森野敏彰	9:45
0-05-A	岩手県に残存する半自然草原群落の現状および過去との比較による保全生態学的研究	新井隆介・大窪久美子	10:00
(休憩15分)			
0-06-A	京都府北部における森林表土を利用した植生基材吹付工の植生遷移と自然回復の評価	中村剛・谷口伸二・大貫真樹子 ・藤原宣夫	10:30
0-07-A	香川県直島のシダ植物群生地における林野火災リスク評価	森本淳子・濱本菜央・小南遼 ・三島啓雄・小川健太	10:45
0-08-A	倒木残置した人工林風倒地における林冠の有無が微細地形の物理環境と植物の定着に与える影響	森本淳子・梶原一光・志田祐一郎	11:00
0-09-T	軟岩切土法面生育試験における生育支配要因、特に地質状況との関係	佐藤亜樹男・築瀬知史・中村信治 ・川九邦雄・中野裕司	11:15
0-10-T	石灰石採取跡地小段植栽に関する下水コンポストの追肥・施肥効果と植生侵入促進について	中野裕司・杉山貴志・立川和法 ・井上亮太・茅洪新	11:30

■論文・技術報告 口頭発表② 8月31日（日）9：00～11：45（発表12分，質疑応答3分）

◇場所：講義棟25番教室

No.	タイトル	著者	時間
0-11-A	琵琶湖疏水およびその周辺環境条件と鳥類群集との関係	宮本脩詩・福井亘	9:00
0-12-A	京都近郊部の農地形態と鳥類生息の関わりについて	濱田梓・福井亘・水島真	9:15
0-13-T	高槻市における都市内農地およびその周辺の環境条件と鳥類生息との関係	坂下遥・福井亘	9:30
0-14-T	国有林内で実施した航空緑化工の林地回復に立地条件が与える影響	田中淳・竹村文・田中賢治・大澤学	9:45
0-15-T	メガソーラー発電用の雑草抑制資材の性能比較とライフサイクルコストの検討	十河潔司・杉本英夫	10:00
(休憩15分)			
0-16-A	屋上緑化の芝地における土壌の経年変化とCO ₂ 固定能の定量化	黒沼尊紀・橋本早織・石原竜彰 ・吉岡孝治・渡辺均	10:30

No.	タイトル	著者	時間
0-17-T	新潟市の海岸砂丘における廃菌床と腐植を利用した海岸緑化の試み	田中賢治・森千夏・山田富市・眞見和樹	10:45
0-18-A	原発事故被災地の丘陵地広葉樹斜面林における林床放射能低減試験とその後の水土流出	山本理恵・小林達明・江幡知紗 ・篠崎敬太・小嶋大地・太田祥子 ・宮本ウルルマ・高橋輝昌・鈴木弘行 ・関崎益夫・星澤保弘・小竹守敏彦 ・保高徹生・辻英樹	11:00
0-19-A	簡易型地上レーザーを用いた毎木調査法	加藤顕・安藤祐樹・吉田俊也 ・梶原康司・本多嘉明・小林達明	11:15
0-20-A	デジタル画像の色彩学的指標を用いた2ヶ年におけるヤマザクラ開芽特性の比較	飯田義彦・今西純一・森本幸裕	11:30

■論文・技術報告 ポスターセッション①(論文) 8月31日(日) 12:30~14:30

◇場所: 講義棟1番教室 / コアタイム (*12:30~13:30, **13:30~14:30)

No.	タイトル	著者	時間
P-01-A	大面積皆伐地に植栽された苗木の立地環境の違いによる成長と葉内元素濃度への影響	香山雅純	(※)
P-02-A	河川堤防の張芝緑化地における半自然草地構成種導入手法の検討	安部真生・山田晋・根本正之	(※※)
P-03-A	中国毛烏素砂地に生育する <i>Artemisia ordosica</i> Krasch. と <i>Caragana korshinskii</i> Kom. の水分生理特性と浸透調節	岡田憲和・毛惠平・山中典和・吉川賢 ・王林和・張国盛・山本福壽	(※)
P-04-A	中国内モンゴルブチ砂漠に植栽後、埋砂された小葉楊 (<i>Populus simonii</i> Carr.) の成長と浸透調節能	宮崎寛大・岡田憲和・立石麻紀子 ・山本福壽・毛惠平・谷口武士 ・山中典和	(※※)
P-05-A	中国の砂漠地で植栽される小葉楊 (<i>Populus simonii</i>)、銀白楊 (<i>P. alba</i>) および旱柳 (<i>Salix matsudana</i>) 苗木の成長に及ぼす人為的な埋砂の影響	宮崎寛大・岡田憲和・山本福壽 ・毛惠平・谷口武士・山中典和	(※)
P-06-A	海水による土壌冠水がホウライチク (<i>Bambusa multiplex</i>) の生育に及ぼす影響	井上美那・中川憲一・谷口武士 ・山本福壽・山中典和	(※※)
P-07-A	水耕栽培下における塩濃度の違いがヒルギダマン (<i>Avicennia marina</i>) とメヒルギ (<i>Kandelia obovata</i>) 稚樹の生育および樹体内のイオン含有量に及ぼす影響	岩永史子・野口よしの・山本福壽 ・Ailijiang Maimaiti・岡田憲一 ・山中典和・谷口真吾	(※)
P-08-A	海水浸漬がタブノキ、アカマツ、クロマツの生理に与える影響の経時変化	立石麻紀子・Ailijian Maimaiti ・辻将大・井上美那・谷口武士 ・山本福壽・山中典和	(※※)
P-09-A	移植後2年間のタイサンボク (<i>Magnolia grandiflora</i> L.) とシダレモミジ (<i>Acer palmatum</i> Thunb.) の樹液流動特性	竹内真一・松田藍・西由貴恵	(※)
P-10-A	葉緑体DNAハプロタイプ分析による在来草本植物10種の地域性評価	津田その子・小林聡・富田基史 ・阿部聖哉・松木吏弓・河津かおり ・花井隆晃・鈴木素弘・守谷栄樹 ・藤井義晴	(※※)

No.	タイトル	著者	時間
P-11-A	年間を通じた高温がナンコウバイの開花、開芽に及ぼす影響	大野拓也・中島敦司・河野仁美 ・大南真緒	(※)
P-12-A	画像解析による酸化マグネシウム植生基盤材の割裂破壊評価に関する研究	島本由麻・鈴木哲也	(※※)
P-13-A	都市公園における利用行動と健康関連QOLの関係性	大塚芳嵩・那須守・高岡由紀子 ・金侖映・岩崎寛	(※)
P-14-A	住区基幹公園に対する環境価値意識の構造化と心理・経済的価値評価	那須守・大塚芳嵩・高岡由紀子 ・金侖映・岩崎寛	(※※)
P-15-A	水辺ビオトープ造成後8年間における植物、鳥類およびトンボ類の種組成の変化について	荒瀬輝夫・内田泰三	(※)

■論文・技術報告 ポスターセッション② (技術報告) 8月31日(日) 12:30~14:30

◇場所: 講義棟3番教室 / コアタイム (*12:30~13:30, **13:30~14:30)

No.	タイトル	著者	時間
P-01-T	プラグ苗を用いた試験施工-安房峠道路での事例-	白川一代・築瀬知史・谷内繁	(※)
P-02-T	連続繊維補強土に混合した添加材がもたらす植生への影響と補強効果	石垣幸整・堀江直樹・大嶺聖	(※※)
P-03-T	滋賀県朽木地域の山地谷頭部斜面における微地形と土壌硬度の計測	飯田義彦・手代木功基	(※)
P-04-T	治山緑化に寄与する環境保全型ロール資材の開発	小川泰浩・岡部宏秋・石森良房 ・西澤敦彦・広瀬光一郎・足利陽史	(※※)
P-05-T	雑草抑制に適した木材チップ敷設方法の検討	高橋輝昌・北村健人・平野義勝 ・平野正男	(※)
P-06-T	塩水浸漬下で生育させた広葉樹体内のイオン含有率の変化について	伊東日向・吉崎真司	(※※)
P-07-T	フェロシアン化鉄(紺青顔料プルシアンブルー)の施用が土壌からコナラ苗木への放射性セシウム移行に及ぼす影響	近藤晃・鈴木拓馬・伊藤愛・加藤徹	(※)
P-08-T	タケチップとクラゲチップを活用する土壌改良材の開発	河野修一・江崎次夫・金錫宇・全権雨	(※※)
P-09-T	草本植物に対するタケチップとクラゲチップを活用する土壌改良材の効果	全権雨・徐正一・江崎次夫・河野修一	(※)
P-10-T	京都市中心部の街路樹と鳥類出現との関係について	福井亘・西野冴	(※※)
P-11-T	高木間植栽に適した街路樹用樹木に関する研究	長嶋大貴・遠藤直弥・渋谷圭助 ・佐藤澄仁	(※)
P-12-T	カササゲ(<i>Carex dispalata</i> Boott)を用いた屋上緑化の夏期および冬期における熱環境改善効果の評価	辻盛生・佐々木遙・熊谷吉則 ・佐々木理史	(※※)
P-13-T	地域住民による公共緑化空間の病虫害管理の意識と可能性	山田麻亜子・三島孔明・岩崎寛	(※)
P-14-T	ニリンソウ(<i>Anemone flaccida</i> Fr. Schm.)の生育に影響を及ぼす環境要因	屋祢下亮・北脇優子・猪熊千恵	(※※)
P-15-T	都市の生物多様性保全における街路樹空間の役割	古野正章・内田泰三・薛竣桓	(※)

No.	タイトル	著者	時間
P-16-T	ヒマワリに対する印象評価ーメンタルケアとしての有用性	岩崎寛・宇内沙織・塚本隆男	(※※)
P-17-T	植物の設置によるVDT作業時の疲労緩和効果に関する基礎的研究	小坂凜・岩崎寛	(※)
P-18-T	高速道路休憩施設の緑地に対する利用者の意識と利用の現状に関する研究ー市原サービスエリアを事例として	末永和也・岩崎寛	(※※)
P-19-T	仮設住宅における緑地の現状および園芸活動の実態に関する研究ー福島県における事例	船木啓祐・佐久間智子・岩崎寛	(※)
P-20-T	ニホンジカ高密度生息域における森林伐採10年後の埋土種子相	山瀬敬太郎・藤堂千景・柴原隆	(※※)
P-21-T	生物多様性に配慮した畦畔植生の管理・修復に向けたガイド種の選定試案	大澤啓志・嶺田拓也・楠本良延・大久保悟・山田晋・北川淑子	(※)
P-22-T	pHが草索性野草類の発芽に及ぼす影響	七海絵里香・松井春佳・大澤啓志	(※※)
P-23-T	渚滑川水系と十勝川水系のケショウヤナギ結実時期の違いについて	田崎冬記・折戸由里子・斎藤新一郎・丸山純孝・野嶽秀夫・越後貞	(※)
P-24-T	農場建設工事において保全した低茎草原の希少種にかかわる複数の危機	野呂恵子・倉本宣	(※※)
P-25-T	富士山南麓の広葉樹林復元のための管理方法の検討ー下刈り方法の違いによる10年間の植生変化ー	中村華子	(※)
P-26-T	ビデオカメラを用いた千葉県におけるサシバ (<i>Butastur indicus</i>) の巢内搬入動物の把握事例	徳江義宏・今村史子	(※※)
P-27-T	黒川農場における里山管理の基本的な姿勢	倉本宣・野呂恵子・三谷清	(※)
P-28-T	外来植物種の道路用地内外の逸出状況追跡調査	築瀬 知史・夏目壽一	(※※)

5. 研究交流発表会 ポスターセッション

■8月31日(日) 12:30~14:30

◇場所: 講義棟4番教室 / コアタイム (※12:30~13:30, ※※13:30~14:30)

No.	タイトル	著者	時間
研交01	サワギキョウの種子発芽特性	大塚友貴・近藤哲也	(※)
研交02	被災した海浜性海岸林におけるマツ類の実生の分布特性	七海絵里香・上野滯・大澤啓志	(※※)
研交03	希少種の生息域外保全と『和の花』プロジェクト	森本幸裕・百生太亮・佐藤正吾	(※)
研交04	鳥取県東部(因幡地方)を事例とした生物多様性緑化のための樹木データベースの作成	秋鹿史子・日置佳之	(※※)
研交05	石積棚田の生態学的役割ー植物の侵入特性と生物多様性ー	内田泰三・古野正章・南敬・山下三平・内田忠・荒瀬輝夫・早坂大輔・横山秀司	(※)
研交06	ラオス南部の水田における食用雑草とその生育環境	今西亜友美・鷲谷寧子・夏原由博・今西純一・Sisomphone Southavong・Inpeng Duangvongsa	(※※)

No.	タイトル	著者	時間
研交07	西表島における地域性種苗を用いた緑化事例	大嶺匡史・大橋史葉・大橋智 ・徳丸慶太郎・大城政人・玉城正教 ・戸眞伊伸宏・志良堂友彦	(※)
研交08	沼津千本浜海浜におけるカワラナデシコの生育状況	新井恵璃子・七海絵里香・大澤啓志 ・勝野武彦	(※※)
研交09	火山性荒廃地における東京クレセントロール工法の治山緑化機能の評価	菊池輝海・上條隆志・小川泰浩 ・岡部宏秋・石森良房	(※)
研交10	桜島のり面における外来牧草類の変遷	近藤賢太郎・今戸栄貴・内田泰三 ・田中淳・佐藤重貴夫	(※※)
研交11	コンテナ苗の植付け作業工程に及ぼす植栽器具と作業者の影響	近藤晃・袴田哲司・山田晋也・伊藤愛 ・山本茂弘	(※)
研交12	羅臼地域における自生種植物を使用した治山緑化の事例	福田尚人・鈴木克哉・岸野和哉	(※※)
研交13	羅臼地域における治山緑化用種子の現地採取	福田尚人・鈴木克哉	(※)
研交14	国内産在来木本種子を自然回復緑化で用いる場合の種子貯蔵技術の重要性について	小野幸菜・吉田寛	(※※)
研交15	沖縄本島北部の切土法面における試験施工後2年間の植生動態-森林表土利用工および自然侵入促進工について-	服部浩之	(※)
研交16	つる植物による壁面緑化の課題と今後の展望-生育・利用特性の視点から-	岡田準人	(※※)
研交17	UAVによる高解像度画像を用いた海岸林の津波被災実態把握	大澤啓志・七海絵里香・泉岳樹 ・石川幹子	(※)
研交18	愛媛県笠松山山火事跡地の森林再生	西田泰弘・竹波信宏・河野修一 ・江崎次夫・徐正一・全権雨	(※※)
研交19	愛媛大学演習林における溪畔林の実態	全権雨・金錫宇・西田泰弘・竹波信宏 ・河野修一・江崎次夫	(※)
研交20	クラゲチップを活用する山腹荒廃地の緑化	全権雨・金錫宇・寺岡平和・原浩之 ・村上尚哉・兵頭充祥・二宮亮平 ・河野修一・江崎次夫	(※※)
研交21	クラゲシートを活用する海岸防災林の造成	河野修一・江崎次夫・松本淳一 ・土居幹治・今村高之・山田大志 ・徐正一・全権雨	(※)
研交22	クラゲシートを活用するインドネシア・バリ島の緑化	河野修一・江崎次夫・松本淳一 ・土居幹治・今村高之・山田大志 ・全権雨・金錫宇	(※※)
研交23	クラゲチップを活用する火山性荒廃地の緑化	江崎次夫・河野修一・松本淳一 ・土居幹治・徐正一・全権雨	(※)
研交24	中国内蒙古自治区クブチ砂漠に植栽されたヤナギ科樹木3種の活着・成長および生理	和泉瑠伽・宮崎寛大・谷口武士・毛惠平 ・山本福壽・山中典和	(※※)
研交25	造成後約40年経過した大阪万博記念公園樹林地の林分構造	佐々木剛・飯塚貴之・丹羽英之 ・森本幸裕・石井弘明・土居優・千原裕	(※)
研交26	ジブチ産デマル (<i>Pithecellobium dulce</i> (Roxb.) Benth.) の初期生育に対する各種堆肥の施用効果	猪塚水榛・小澤信彦・橘隆一・福永健司	(※※)
研交27	ジブチ産モリンガ (<i>Moringa olerifera</i> Lam.) の初期生育に対する各種堆肥の施用効果	小澤信彦・猪塚水榛・橘隆一・福永健司	(※)
研交28	イロハモミジの採種時期と発芽能力との関係	岸野公亮・福永健司・橘隆一	(※※)

No.	タイトル	著者	時間
研交29	クズの繁茂抑制対策事例紹介	築瀬知史・田村奈津子・夏目壽一 ・西牟田和沙	(※)
研交30	鶺鴒に生育するヨシの栽培試験について	築瀬知史・西牟田和沙・田村奈津子 ・夏目壽一	(※※)
研交31	ジブチ共和国で採取した植物種子16種の発芽特性および初期生育実験	橘隆一・小澤信彦・猪塚水榛・福永健司	(※)
研交32	大山緑地の湿地復元に関する研究-周辺環境が大山緑地乾燥化に与えた影響-	芦澤満・辻修・宗岡寿美・木村賢人	(※※)
研交33	農林地流域における河川水中の硝酸態窒素濃度の適正化と森林の役割-十勝川水系の水質保全に向けた取り組み-	山崎由理・宗岡寿美・木村賢人・辻修	(※)

6. 公開シンポジウム

日本緑化工学会 斜面緑化研究部会 積雪寒冷地緑化研究部会 合同企画

『自然回復法面緑化の寒冷地域における課題』

日時 2014年8月30日(土)15:00~17:00

場所 帯広畜産大学 講義棟 大講義室

プログラム

挨拶・公開シンポジウムテーマの意義 帯広畜産大学 辻修氏

1. 自然回復緑化の基本的な考え方 東京農業大学 福永健司氏
2. 寒冷地における自然回復緑化事例のモニタリング SPTEC.YAMADA 山田守氏
3. 北海道における法面緑化用自生種植物 有限会社開成舎 福田尚人氏
4. 北海道における法面緑化技術者育成 北海道造園緑化建設業協会 渡辺正志氏

質疑応答

概要

地域の植物遷移序列に従った自然植生の法面は、侵食抑制効果が安定している。このことは地域の自然斜面がその姿を示し、また法面緑化草創期の昭和30年代において、そして現在においても想定している植生変化の道筋でありたどり着くべき目標である。

自然回復法面緑化は、法面の植生を地域の植生遷移の流れに円滑に誘導するための初期群落の造成をテーマとしている。初期群落造成を出発点とした長期モニタリングによる植生変化の検証は、技術発展につながる有用な情報を提供する。一方寒冷地の法面においては、自然植生の構成種が少なく自然群落の形成が遅れることが知られている。また法面緑化用植物には、短い生育期間と長く厳しい冬季の環境に耐え、根系が深く発達し、長期に衰退しない性質が必要とされる。このため、地域性種苗(地域の自生種植物)の使用には大きな期待がある。しかし以上のことは、法面緑化の実行主体である地域法面緑化業界の技術力の向上と、種苗需給システムの構築など独自の発展を遂げなければ実現の難しいテーマでもある。

そのためこの公開シンポジウムでは、自然回復緑化基本的考え方、自然回復緑化事例のモニタリング結果、法面緑化用自生種植物の採取と利用、法面緑化技術者の育成と種苗流通という4つの立場から寒冷地域において自然回復緑化を実行する場合の課題を提示し地域の土木技術者を交えて論議を深めたいと考えている。

7. 研究集会

①防災緑化研究部会

『森林はどのように斜面を安定化するか!?!』

日 時 2014年8月31日(日)15:00~16:30

場 所 帯広畜産大学 講義棟 25番講義室

話題提供

1. 樹木根系による斜面安定化作用に関する研究のレビュー 日本大学 阿部和時 氏
2. 森林管理と斜面崩壊の関係性について 宇都宮大学 執印康裕 氏
3. 災害に強い森林づくりのポイント 国土防災技術株式会社 田中賢治 氏
4. 討議

内 容

温暖多雨な日本の山間地域では森林の過度の伐採による土壌侵食、山崩れ、洪水などの災害と大昔から関わってきた。明治30年代には林地の過度な使用がピークを迎え、300万haに及ぶ禿げ山が形成されたとされ、土砂流出や洪水が頻発した。その後は徐々に緑化・防災事業が進行し、また石油資源等の利用や外材の輸入で日本の荒廃地は回復し森林が山地全域を覆うようになった。このため、山地災害の形態は変化し発生頻度は減少してきたが、しかしそれでも近年の局地的で突発的な激雨による山地災害は毎年のように発生している。

緑化工の目的の一つは樹木、草本を使った斜面の安定化であり、植生が斜面を安定化させるメカニズムの解明や災害を発生させない植生管理技術の確立等を目指す必要がある。このため、関係分野に従事する研究者、技術者、行政担当者等により「防災緑化研究部会」を立ち上げ、この目標の達成を目指すこととした。

本研究集会は防災緑化研究部会が開催する第1回目の研究集会で、既往の樹木による斜面安定化に関する研究のレビューと森林の施業が斜面安定に及ぼす影響の研究例を話題として提供し、討議する。

②生態・環境緑化研究部会

『地域性種苗利用の最前線～使った・困った事例紹介ワークショップ』

日 時 2014年8月31日(日)16:30~18:00

場 所 帯広畜産大学 講義棟 3番講義室

内 容

地域性の植物資源を用いた緑化・自然再生の事例を募集し、各自ご紹介頂きます。前半は会員のみなさんからお寄せ頂いた紹介資料やポスターを掲示し、自由に見て頂く時間を作ります。後半は、掲示された発表に対する意見交換を行うとともに、地域性種苗に関する社会的状況や、遺伝系統の研究などについての最新情報を提供するラウンドテーブルセッションを行います。

地域性種苗に関する、使用事例、立地の評価、希少種保全の事例、生息地の保護、多様な主体の連携事例・・・など、うまくいった、うまくいかなかった、こんなところが問題だった、といった事例や提案を募集し、寄せられた情報を発表します。

当日は参加者のみなさんで自由に意見交換を行って頂き、現場や研究に活かして頂くことを目指しています。成果はホームページ等にも掲載致します。どうぞふるってご参加下さい！

8. 現地見学会

日時 2014年9月1日(月)9:15~16:00

(9:15 とかちプラザ東側 集合 (9:30 出発), 16:00 JR帯広駅 解散)

場所 現地見学会 (日勝峠・十勝千年の森・帯広の森)

料金 正会員・一般4,000円, 学生会員3,000円 (いずれも, 十勝千年の森入場券・昼食 付)

※ 今回, 現地見学会を開催します (雨天決行)。バスに空席がある場合, 当日も受付いたします。
なお, 集合場所の詳細は当日受付にてお知らせします。参加者の皆様は, 必ずご確認願います。
では, 多くの皆様のご参加をお待ちしています。

9. 大会運営委員会

第45回日本緑化工学会大会運営委員会

委員長: 辻 修

委員: 井良沢道也, 内田泰三, 近藤哲也, 武田一夫, 田崎冬記, 福田尚人, 宗岡寿美, 森本淳子
〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学地域環境工学研究室

TEL: 0155-49-5512 (地域環境工学研究室) FAX: 0155-49-5514

E-mail: gakkai@obihiro.ac.jp

10. その他

○ 会場に食堂はありません。また, 食事を購入できる施設はありません。

さらに, コンビニ・食堂等は会場からかなり離れたところにあります。

昼食は各自, 事前に持参していただきますようご協力願います!

○ 「帯広畜産大学生協 (店舗)」を時間限定で営業する予定です。

おみやげ品の購入などにぜひご利用ください。食事等は基本的に販売しません。

○本大会では託児所を設置いたしません, 帯広市内の託児施設の紹介をいたします。

託児に関する情報を必要な方は, 担当 (森本淳子: jmo1219@for.agr.hokudai.ac.jp) まで
できるだけ早めにお問合せ下さい (メールの表題: 「緑化工学会・託児施設紹介」)。